

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
平生町	平生町	平成 30 年度～令和 2 年度	平成 30 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	生活系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 ( %)	kg/人 ( %)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t ( %)	t ( %)	%
再生利用量	直接資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
	総資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目 標※3	
総人口	12,057	12,173	11,561	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	6,812	7,780	6,670	-14.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	56.5%	63.9%	57.7%	16.2%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	870	1,117	808	-25.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.2%	9.2%	7.0%	-10.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	1,698	1,720	1,640	-263.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	14.1%	14.1%	14.2%	0.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	2,677	1,556	2,443	20.9%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備事業	平生町	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置促進を図る。	平成 30 年度 ～令和 2 年度	浄化槽設置基数 13 基 平成 30 年度 5 基 令和 元年度 4 基 令和 2 年度 4 基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

### 3 目標の達成状況に関する評価

計画期間中の汚水処理人口処理率は、平成29年度の77.8%に比して、令和2年度は78.9%と向上しているものの、目標の87.2%は達成できなかった。

個別の目標達成状況については、公共下水道では、汚水処理人口・処理率ともに目標値を下回っており、処理区域内人口の減少が要因と考えられる。

集落排水施設については、施設整備を完了しており、処理区域内人口の減少率が大きかったことが、汚水処理人口・処理率ともに目標値を下回った要因となっている。

合併処理浄化槽では、補助制度の活用により、単独処理浄化槽又は汲み取り便槽からの転換が進む一方、人口の減少により、汚水処理人口は目標値を下回った要因と考えられる。

未処理人口については、公共下水道や合併処理浄化槽の普及により減少しているが、目標ほどの減少とはならなかった。引き続き公共下水道事業の進捗を図るとともに、循環型社会形成推進交付金制度を活用し、合併処理浄化槽の設置促進に取り組むたい。

#### (都道府県知事の所見)

合併浄化槽に係る汚水衛生処理率については目標を達成しているものの、その他の項目については未達成であった。全体の汚水衛生処理率の向上に向け、公共下水道及び集落排水施設等の経済的かつ効率的な整備を進める必要がある。未達成の要因等を踏まえて、達成に向けた方策を検討すること。